

平成 22 年度 決算 に 係 る

定 期 監 査 調 書

平成 23 年 4 月

消防防災航空センター

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	2
4	職員の定員、現員調べ	2
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	3
7	収入証紙取扱額調べ	5
8	収入事務処理状況調べ	5
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	5
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	5
11	不納欠損額調べ	5
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	6
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	8
14	財産に関する調べ	8
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	10
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	10
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	10
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	10
19	寄附物件の受納状況調べ	10
20	備品の処分状況調べ	11
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	12
○	意見、要望	13

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
消防防災航空センター		○消防防災ヘリコプターの運航管理に関すること ○消防防災ヘリコプターによる市町村等への支援に関すること

4 職員の定員、現員調べ

(平成23年4月1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当年度	22.4.1現在	当年度	22.4.1現在	当年度	22.4.1現在	当年度	22.4.1現在	
定員		1	1	8	8	-	-	9	9	技術吏員は航空隊員で、 県内消防局との併任
現員		1	1	8	8	-	-	9	9	同上
過不足(Δ)		0	0	0	0	-	-	0	0	
臨時職員		-	-	-	-	-	-	-	-	
非常勤職員		2	2	-	-	-	-	2	2	事務・消防防災連絡員

5 役付職員の調べ

(平成23年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
所長	住田 明信	年 月 1	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要
<p>消防防災ヘリコプター 運航活動費</p> <p>決算(見込)額 208,334 千円 (財源内訳)</p> <p>一般財源 207,994 千円</p> <p>その他 340 千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 ○消防防災ヘリコプターが持つ非代替性・機動力を活用し、県民の安全・安心を確保する。</p> <p>(イ)事業の実施状況 ①消防防災ヘリコプター「とっとり」の運航 <運航体制等> 運 航 日 : 365日(整備点検等で運航できない日を除く。) ※ 本県ヘリが運航不能の場合は、相互応援協定により島根県ヘリの出動を要請する。 運 航 時 間 : 原則、8:30~17:15 (日の出から日没) 運航管理責任者 : 消防防災航空センター所長 消防防災航空隊 : 各消防局から派遣(隊長1名、副隊長2名、隊員5名) 運航委託会社 : 朝日航洋株式会社(操縦士2名、整備士3名、運航管理者1名)</p> <p>②救急救命士資格隊員の派遣への対応(H23年度から配置予定) ○各消防局警防課及び総務(庶務)課と救急救命士派遣に当たってのローテーションや条件(養成費への助成、特勤手当、賠償保険への加入)整備への協議を重ね、派遣に対する各消防局の最終了解を得た。併せて、所要の備品等の予算措置を行い、受入体制の整備を行った。</p> <p>③緊急消防援助隊の応援・授援計画の実効的運用 ○平成22年10月21日~22日に高知県において実施された「中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練」に参加し、出動手順等の確認及び他県援助隊との連携の検証等の確認を行った。</p> <p>④医師が防災ヘリに同乗する運用の実働的取組み ○医師と看護師の防災ヘリ同乗訓練を実施 ・県立中央病院1回(12/10) ・県立厚生病院2回(9/21、11/30)</p> <p>○3府県共同運航ドクターヘリ(基地病院:兵庫県豊岡病院)と併せ重層的な救急体制の構築を目的として、県西部地域を主眼とした防災ヘリの医師搭乗型運用を実施するため、鳥取大学附属病院と協定を締結し運用を開始 【説明】 4月14日、消防学校において運航開始式典及び医大病院医師・看護師が搭乗し訓練を実施(※23.2.24、第2回訓練実施)</p> <p>⑤中国五県による防災ヘリ運航不能時相互応援協定の締結を推進 ○島根県と相互応援協定を締結し、本県ヘリが法定検査等で運航不能となった時には島根県防災ヘリの出動を要請できる制度を構築し、両県で相互に応援し合っているが、両県ヘリが同時に運航不能となることもあるため、中国5県で運航不能時の相互応援協定の締結を進めている。 (幹事県:山口県 平成22年度末までに締結の見込み)</p> <p>イ 平成22年度実施に当たり改善等に取り組んだ点 ①埼玉県航空隊の防災ヘリ救助活動中の墜落死亡事故を受け、本県防災ヘリの機体の軽量化及び活動目的別(救急、救助、海難)に搭載装備をユニット化し、安全運航の改善を図った。 ②海上保安庁の映像流出事件を契機として、防災ヘリの活動状況を記録した映像媒体(DVD、マイクロフィルム)等について、保管ロッカーへの一元的保管と使用する場合の取扱ルールを明確にし、遺漏のないようにした。</p>	

事業名

概

要

ウ 成果

①消防防災ヘリの平成22年運航実績(H22.1.1~H22.12.31)

区分	本年 件数	運行時間	主な活動内容
災害応急対策			
火災防御	3	1時間12分	4月8日 倉吉市上福田の林野火災の状況をヘリテレにより情報収集
救急	55	43時間42分	3月9日 北栄町国道9号での交通事故の心臓停止患者を県立中央病院に搬送 3月30日 八頭町福地で高木から転落骨折した患者を医師同乗により県立中央病院に搬送 9月27日 新生児の重篤心臓病患者を県立中央病院から岡山医大病院に転院搬送 10月18日 高齢の心不全患者を山陰労災病院から倉敷中央病院に転院搬送
救助	33	26時間29分	4月29日 久松山山頂付近での急病者を吊り上げ救助し、県立中央病院に搬送 6月2日 大山山頂から滑落した傷病者を吊り上げ救助し、鳥取医大病院に搬送 10月1日 大山下山中に歩行困難となった女性を吊り上げ救助し、地上隊へ引継ぎ 12月20日 由良川河口付近での転覆船の心臓停止男性を吊り上げ、厚生病院に搬送
広域航空応援	13	26時間21分	9月6日 鳥根県出雲市湖陵町内の林野火災を空中消火(延べ1.1ha消失) 9月6・7日 鳥根県浜田市内の林野火災を2日にわたり空中消火(延べ12ha消失)
緊急運航計	104	97時間44分	
通常運航			
災害予防対策	1	53分	11月30日 口蹄疫予防消毒ポイントの確認のため、西部地域を調査(知事同乗)
消防防災訓練	27	26時間34分	1月27日他4回実施 医師同乗訓練(中央病院、厚生病院、医大病院医師・看護師) 10月17日 鳥取県防災フェスタでの合同訓練 10月22日 中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練(高知市)
自隊訓練	73	91時間56分	消火、救助、救急、ヘリTV電送、夜間飛行、計器飛行訓練他
一般行政	10	18時間37分	幹線道路進捗状況調査、ナラ枯れ・松くい虫被害調査、採石場・海岸・河川現況調査他
その他	20	15時間41分	機体点検後のテスト飛行他
通常運航計	131	153時間41分	
合計	235	251時間25分	

②救命医師の防災ヘリ同乗実績……1件

〈医師同乗の内容〉

・医師同乗年月日 平成22年3月30日

・対象病院 県立中央病院

・活動内容 高木転落の骨折患者の救助・救急措置を実施するため、県立中央病院の医師1名を同乗し、中央病院に搬送

〈参考〉昨年度までの医師同乗件数 18件

③緊急消防援助隊の出動実績……なし

④鳥取県航空支援隊の活動実績……なし

※ ③及び④は、大規模災害時に生ずる事案である。

エ 課題

①緊急消防援助隊応援・授援計画の実効的な検証

○消防局(航空支援隊も含む。)とシュミレーション訓練を実施し、計画内容の確認を行い実効性の高いものに改善する。

②医師同乗(搭乗)ヘリ運用に向けた取組強化

○県立中央病院及び厚生病院との合同訓練を継続するとともに訓練の検証を重ね、緊急時の迅速で実効性の高いものとする必要がある。

○鳥取医大病院との合同訓練を実施し、手順・連携の確認をはじめとして、実効的な稼働に向けた取り組みをしていく必要がある。

③ドクターヘリとの協調に向けた取組

○防災ヘリとドクターヘリのランデヴー訓練(傷病者の引継ぎ)を実施する。

④航空隊への救急救命士配置に当たっての環境の整備

○救急救命士が実効的に活動できるよう、MC(メディカルコントロール)指示病院実習等の再教育体制の整備が必要がある。

- 7 収入証紙取扱額調べ 該当なし
- 8 収入事務処理状況調べ
 - (1) 分担金及び負担金 該当なし
 - (2) 使用料 該当なし
 - (3) 手数料 該当なし
 - (4) 財産収入 該当なし
 - (5) 諸収入 該当なし

(平成23年1月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入	雑入		1	220	220	0	0	鳥取県情報公開条例	行政情報任意提供 複写代金及び送料
		計(節)	1	220	220	0	0		
	日計			220	220	0	0		
	合計			220	220	0	0		

- (6) 現金の取扱状況 該当なし
- 9 収入未済額調べ 該当なし
- 10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし
- 11 不納欠損額調べ 該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成23年1月31日現在)

(単位:円)

予算科目 (目)	予算額 令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要 綱等を含む。)	備考
消防連絡調整費	400,000	全国航空消防防 災協議会負担金	全国航空消 防防災協議 会	定額	22.5.6	400,000	全国航空消防防 災協議会会則	
支出金額が10 万円未満のもの								
目 計						400,000		
合 計						400,000		

(2) 補助金

予算科目 (消防連絡調整費)

① 国 補 分 該 当 な し

② 単 県 分

(平成23年1月31日現在)

(単位:円)

補助金等 の名称 (補助金の創設年度)	交付先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着 手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備 考
				交付申請 年月日	完 了 年月日	検 査 年月日	概算払 ・精算 払の別	支 出 年月日	金 額	
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
鳥取県消防防災ヘ リコプター運航調 整交付金 (10年度)	鳥取県東部 広域行政管 理組合 外2		55,163,548	22. 11. 11	-					
			(補助率:定額)	22. 11. 16 外	-					
消防防災航空隊員 の確保を目的と し、県内一部事務 組合等(消防局) から隊員派遣を受 け入れるための補 助			7,582,000	22. 12. 2						
単 県 分 計			7,582,000							0
表の補足説明	1 「交付申請」及び「交付決定」欄の()書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。									

(3) 交付金 該 当 な し

(4)委託料

(平成23年1月31日)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額				支 出 区 分	支 出 日 年 月	金 額	
					変更契約(最終)							
消防連絡調整費	単県	鳥取県消防防災ヘ リコプター運航管理 業務委託	朝日航洋株式会社 岡山支店		(19.4.2) 421,545,600	(19.6.1) 23,331	19.3.2 (免除)	22.4.30他	精	22.5.21外	82,215,000	債務負担行為(H19~22)
消防連絡調整費	単県	鳥取県消防防災ヘ リコプターピボット・ ペアリング等の交 換作業業務委託	朝日航洋株式会社		(22.8.3) 779,730	22.8.3 ~ 22.8.10	22.8.3 (免除)	22.8.9	精	22.8.24	779,730	
消防連絡調整費	単県	鳥取県消防防災ヘ リコプターAFCU オーバーホール作 業委託	朝日航洋株式会社		(22.11.1) 1,058,358	22.11.1 ~ 23.3.15	22.11.1 (免除)					ヘリの運航管理業務に基づき実施す る法定検査中に実施する各種装備品 の取り下ろしと併せて一連の作業とし て実施する業務であるため ③
消防連絡調整費	単県	鳥取県消防防災ヘリ コプタースターターエ ンジンオーバーハ ール作業委託	朝日航洋株式会社		(22.12.13) 1,766,100	22.11.1 23.3.15	随					
消防連絡調整費	単県	鳥取県消防防災ヘリ コプタースターター オーバーホール作 業委託	朝日航洋株式会社		(22.12.6) 367,500	22.12.6 ~ 23.2.20	22.12.2 (免除)					
消防連絡調整費	単県	鳥取県消防防災ヘ リコプターオイル クーラー・プロワー 修繕委託	朝日航洋株式会社		(23.1.21) 378,000	23.1.25 ~ 23.3.10	23.1.18 (免除)					
消防連絡調整費	単県	鳥取空港国際会館 等清掃業務委託	鳥取ビルクリーナ 株式会社		(21.3.31) 19,868,790	21.4.1 ~ 24.3.31	21.3.23 (免除)	22.4.30他	精	22.5.18外	905,463	債務負担行為(H21~23) 鳥取空港国際会館等の施設の清掃 業務と合わせて鳥取空港管理事務所 が一体で入札 905,463 契約は鳥取航空管理事務所長、鳥取 消防防災航空センター所長及び清掃 業者の3者契約
予定価格が20万円 未満のもの											109,200	テールブームリベット修理委託 163,858円2月9日私有
目 計											84,009,393	
医 務 費	単県	鳥取県消防防災ヘ リコプター衛星電話 他装備業務委託	朝日航洋株式会社		(22.3.1) 30,964,500	22.3.1 ~ 22.8.31	22.2.26 (免除)	22.8.31	精	22.10.5	30,093,000	④ 医療政策課からの配当換
目 計											30,093,000	
合 計											114,102,393	

13 工事請負費調べ 該当なし

14 財産に関する調べ
(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成23年1月31日現在)

行政・ 普通財産 の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政 財産	消防防災航 空センター	鳥取市湖山町北 4丁目344- 2	935.52	298,408,950	増加 H							935.52	298,408,950	
計			935.52	298,408,950	減少 H							935.52	298,408,950	
合計			935.52	298,408,950								935.52	298,408,950	

ウ 山林 該当なし

エ 動 産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）

（平成23年1月31日現在）

区 分	前年度末		本年度中の増減（△）			差引数量	備 考
	取得年月日	数 量	年 月 日	数 量	取得又は処分価格		
航 空 機	H10.2.27	1			円	1	
合 計		1		—	—	1	

オ 物 権 該当なし
 カ 無体財産権 該当なし
 キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

（平成23年1月31日現在）

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及 び郵便はが き	円 69,910	円 0	円 53,170	円 16,740	使用額の内、14,400 円は集中業務課へ保 管換
合 計	69,910	0	53,170	16,740	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

(3) 債 権

（平成23年1月31日現在）

債権の名称	前年度末		本年度中				差 引		備 考
	金 額	件数	増		減		金 額	件数	
			金 額	件数	金 額	件数			
消防防災航空 隊派遣隊員宿 舎借上に係る 敷金	円 270,000	3	円		円		円 270,000	3	
合 計	270,000	3					270,000	3	

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物 該当なし

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

ア 管理状況 該当なし

イ 異動状況 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況 該当なし

イ 異動状況 該当なし

18 自動車（二輪を除く）の管理状況

(平成23年1月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ 数	本年度			備考
					稼働 日数	(1ヶ月平均) 走行キロ数	修理費等	
普通乗用自 動車	H9	鳥取88に35-81	H9.9.30	km 156,158	日 122	km (1,328) 13,238	円 57,057	
"	H9	鳥取88に35-97	H9.10.3	67,614	62	(519) 5,189	45,217	
電源車	H9	鳥取88に37-82	H10.1.28	3,812	228	(27) 268	17,713	
合計		3台					119,987	

19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成23年1月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格 円	不用決定年月日	不用とする理由	処 分				備 考
							売却 売却の別	売却方 法・売却理由	処分 年月日	売却額・ 処分費用 円	
水難訓練人形 WRR-W	1	H11.5.29	8	285,600	H22.5.18	故障のため使用不可	売却	修理不能	H22.5.18	1,423	産業廃棄物として処分
デジタルビデオカメラ ソニーDCR-VX-200 (アクセサリキット、予備 バッテリーパック、キャリングケー	1	H13.5.30	5	375,900	H22.5.18	故障のため使用不可	売却	修理不能	H22.5.18	158	産業廃棄物として処分
可搬型地上電装装置	1	H12.1.29	8	1,029,000	H22.5.18	故障のため使用不可	売却	修理不能	H22.5.18	4,640	産業廃棄物として処分
心肺蘇生訓練用人形 アイカ	1	H10.3.27	8	328,020	H22.7.21	老朽化及びガイド ラインの変更により使用不可	売却	売払い価 値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
航空ヘルメット(FHG-5)	3	H13.3.30	8	409,500	H22.7.21	劣化・老朽化に より使用不可	売却	売払い価 値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
クイックストラップ MIL-W-4088 TYPE3	1	H14.11.29	8	48,300	H22.7.21	劣化・老朽化に より使用不可	売却	売払い価 値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
高感度聴診器 WKR-700	1	H14.8.13	6	33,075	H22.7.21	劣化・老朽化に より使用不可	売却	売払い価 値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
ベッドサイドモニター BSM-4101	1	H14.8.29	6	1,659,000	H22.7.21	心電感度が悪く 使用不可	売却	売払い価 値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
CO2センサキット(ペッ ドサイドモニター用) TG-900P日本光電	1	H15.4.30	6	241,500	H22.7.21	心電感度が悪く 使用不可	売却	売払い価 値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
パルスオキシメーター OLV-200(フィンガープ ローブ、ディスプレイプローブ (成人用・新生児用 各 5本1箱)、中継コード、キャ リングケース)	1	H13.10.11	5	304,500	H22.7.21	劣化・センサー 不良により使用不可	売却	売払い価 値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
肩帯型ECGモニター 日本電光IIEC-1103 (電極アダプタセット、接続 ケーブル、ソフトケース)	1	H10.2.27	5	150,150	H22.7.21	劣化・センサー 不良により使用不可	売却	売払い価 値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
鼓膜温式体温計 AE-11-10-27日 本船舶薬品	1	H10.2.27	5	60,900	H22.7.21	劣化・センサー 不良により使用不可	売却	売払い価 値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
自動式人工呼吸器 ニューパック社パラパッ ク2DPPPR-2D	1	H10.2.27	5	945,000	H22.7.21	高圧ホース劣 化により使用不可	売却	売払い価 値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
手動式人工呼吸器 日本メディコEMV-02 -0201	1	H10.2.27	5	113,400	H22.7.21	劣化・老朽化に より使用不可	売却	売払い価 値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
バックマスク(成人用) EMR01-0002日本 メディコ	2	H10.2.27	5	71,820	H22.7.21	劣化・老朽化に より使用不可	売却	売払い価 値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
輸液ポンプ トップ	1	H10.3.27	5	353,850	H22.7.21	劣化・老朽化に より使用不可	売却	売払い価 値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分

小型吸引器 エマジン 3WAY-1500	1	H16.6.17	5	48,825	H22.7.21	吸引力低下により使用不可	棄却	売払い価値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
シュラフ スーパーストレッチタウンハガーロング	1	H13.7.31	3	30,450	H22.7.21	劣化・破れのため使用不可	棄却	売払い価値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
救助用バスケット サンコーフポート	1	H10.2.17	8	227,850	H22.7.21	劣化・老朽化により使用不可	棄却	売払い価値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
ビデオ投下用バッグ 藤倉航装P/NPA0030-1	1	H10.2.25	8	168,000	H22.7.21	劣化・老朽化により使用不可	棄却	売払い価値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
サバイバーリング MIL-W-4088	2	H13.3.30	8	123,480	H22.7.21	劣化・老朽化により使用不可	棄却	売払い価値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
マット型空気ジャッキマット ホルマトHLB201HLB401(圧力調整弁、エアホース、開閉ホース、箱型コントローラー、収納袋)	1	H10.2.25	8	655,000	H22.7.21	劣化・老朽化により使用不可	棄却	売払い価値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
スケットストレッチャー SR-SK200-4269	1	H10.2.25	8	147,000	H22.7.21	劣化・老朽化により使用不可	棄却	売払い価値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
モッコ	1	H10.3.13	8	36,750	H22.7.21	破れにより使用不可	棄却	売払い価値なし	H22.8.3	*	産業廃棄物として処分
救助用フポート付担架 東消式フポート付き	1	H10.3.27	8	525,000	H22.9.17	耐用年数超過へり救助での安全性が担保されないため	譲与	譲渡先では有効利用が図られ公益性も認められる	H22.10.8	0	鳥取県東部広域行政管理組合
合計	29			8,371,870						6,221	

* = 備品以外の廃棄物も含めて一式で処分(一式代26,250円)

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

該当無し

(2) 監査委員事務局に対する要望等 該当なし

